



# 開かれた大学

5

## 附属図書館貴重資料画像データベース

一〇〇年以上の長きにわたる芸大の歴史。その記録を保存した貴重な資料がパソコンのブラウザからアクセスできる。日本近現代美術と音楽の興味溢れるデータベース。

### ヴィジュアル版芸大創世記

馬場純子

東京芸術大学は一九四九年（昭和二十四年）五月東京音楽学校と東京美術学校の二校を母体として、音楽・美術学部からなる四年制大学としてスタートしました。芸大の前身であるこの二校はそれぞれ一八七九年（明治十二年）からの文部省音楽取調掛、一八八五年（明治十八年）からの文部省図画取調掛の時代を経て、一八八七年（明治二十年十月）に創立されました。東京音楽学校は伊澤修二が、東京美術学校は浜尾新が初代校長を勤め、岡倉天心は一八九一年（明治二十三年）に美術学校二代目校長となっていました。岡倉天心は東京音楽学校の前身である音楽取調掛時代にもその達者な英語力を活かし伊澤のもとで御用掛として活躍したばかりでなく、その後はフェノロサと一緒に美術取調委員として欧米に出張しており、両校に深いかかわりを持っています。

室であった「図書課」と「文庫」の貴重な資料を蔵書として受け継ぎ、大学附属図書館として発展活動し今日に至っています。天心が美術取調委員として欧米視察から持ち帰った洋書群や、音楽学校、美術学校時代の蔵書は今日の図書館資料の貴重な核となっています。

そんな芸大創世記を検証する古写真や文書が図書館に収蔵されています。そこには両校の校舎の写真や、授業風景、「花」「荒城の月」の瀧廉太郎、「赤とんぼ」「この道」の山田耕筰、永遠の蝶々夫人と謳われた三浦環等の卒業写真などが含まれています。写真の中の教官、生徒の眼差しにはあふれる矜持を、授業風景、寮風景には学生生活の様子リアルに見ることが出来ます。

附属図書館は音楽学校と美術学校の資料

附属図書館ではこれらの大学史資料を二一年（平成十三年）四月から「貴重資料データベース」として画像で公開しています。パソコンのブラウザからアクセ



4



2



5



3

- 1 明治32年東京美術学校西洋画科教室授業風景
- 2 明治14年12月20日付岡倉覚三（天心）起案文書。伊澤とともに日本の音楽教育を創始したL.W.メーソンの名前が見える
- 3 明治23年5月現在地に新築された東京音楽学校校舎
- 4 明治32年東京美術学校全景
- 5 明治37年7月卒業記念写真。前列右端が柴田環（後の三浦環）
- 6 明治44年音楽学校敷地内に新築された女子寮風景

6



すが可能ですので、遠方にお住まいの方も簡単にご覧になれます。アクセス先は「<http://images.lib.geidai.ac.jp/>」、写真や文書が高精彩画像で見られます。文書名での検索はもちろん、写真の登場人物名での検索や画像の拡大も可能です。ご利用にはこのページからの簡単なユーザー登録申し込みが必要です。ご覧になった感想、ご意見などもお寄せください。

平成十四年度にはこのデータベースに、創立九周年記念展や一周年記念展で

も公開した図書館選りすぐりの和古書を追加して公開しています。美しい色彩や華麗な筆遣いをお楽しみください。なかには芸大図書館にしかない手稿本もあります。洋書や楽譜も今後追加していく予定です。楽しんでお待ちください。

（ばば・すみこ/附属図書館情報サービス係係長）

\*お願い…芸大は幸いにも戦火を被らず貴重な資料が多数残されていますが、それでも完全なものではありません。美術・音楽学校の校友会雑誌、学友会雑誌、写真類などお持ちの方がいらしゃればぜひご寄贈ください。貴重な資料として保存、活用させていただきます。